

様式第 3 号

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		令和 7 年度第 3 回中小企業振興条例制定部会	
事 務 局 (担 当 課)		市民環境部 産業振興課	
開 催 日 時		令和 7 年 7 月 3 1 日 (水) 1 0 時 ~ 1 1 時 3 8 分	
開 催 場 所		Web 会議システム形式と対面形式の併用 (場所：川西市役所 4 階 庁議室)	
出席者	部 会 員	野原部会長、山下部会員、柳部会員、二岡部会員、西田部会員 (OL)、小堂部会員、稲継部会員、時任部会員 (OL)	
	オブザーバー	タウンマネージャー：九鬼氏	
	事務局	市民環境部 岡本部長、人見副部長 産業振興課 河合課長、上原課長補佐、高橋主査、松岡主事	
傍聴の可否予定		☒ 可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1. 開会 2. 議題 (1) 条例の骨子案について (2) 意見交換 3. その他 条例の名称について 4. 閉会	
会 議 結 果		別紙 審議経過のとおり	

審 議 経 過

事務局	1 開会 定刻になりましたので、ただ今より、川西市振興条例制定部会を開催いたします。 私は産業振興課長補佐の上原と申します。 今年度はWeb会議システム形式と対面形式の併用での開催とさせていただきます。Web会議システム形式でのご参加の方は、ご発言の際はミュートを解除していただきますようお願いいたします。 ＜オンライン会議の有効性の確認＞ では、開催に先立って、オンライン会議システムでの参加及び通信の確認を行います。 オンライン形式で参加いただく部会員は、会議開始前に「映像及び音声により部会員本人であること」、「会長及び部会員相互間での映像及び音声の即時の相送受信が適正に行われていること」の2点について、確認を取っております。 次に本会は、部会長と部会員8名のご出席をいただき、当会の規則第7条第2項の規定による、定数を満たしておりますことをご報告いたします。 また、参画と協働のまちづくり推進条例に基づき、2点お伝えいたします。 本日の会議は、こちらの市役所会議室にプロジェクターを設置し、会議内容が傍聴できる体制とし、公開のもと行って参ります。 なお、会議録の作成のため、当会議を録画・録音いたします。 会議録の作成後には速やかに削除いたしますのでご了承をお願いします。 それでは、事前にメール送信と郵送させていただいた資料のご確認をお願いいたします。 ＜資料確認＞
事務局	2、議題 それでは、議題の進行に移らせていただきます。議長につきましては、部会長に務めていただきたく存じます。
部会長	では、次第に沿って進行をさせていただきます。みなさま、よろしくお願ひします。 会議中、部会員の皆さまからのご発言の際には、挙手いただき、こちらから指名させていただいた後にご発言をお願いします。オンラインで参加の方は、挙手いただき、マイクをオンにしてご発言をお願いいたします。 また、本会議は12時までを予定しておりますので、円滑な進行にご協力くだ

事務局	さいますようお願いいたします。 議題（１）条例の骨子案について、事務局から説明をお願いします。 ＜ 議題（１）について説明 ＞
部会長	ご説明ありがとうございました。 本日の部会では、第二回までに皆さまからいただいたご意見を基に、骨子案の「目的」・「基本理念及び基本方針」・「役割」などについて、前回よりも更なる深い意見交換をしたいと考えております。 事務局の説明につきまして、ご質問やご意見等がなければ、意見交換に移りたいと思いますが、いかがでしょうか。 ＜ 質問なし ＞
部会長	それでは、議題（２）の意見交換に移りたいと思います。事前にお知らせしましたとおり、部会員の皆さまからご意見をいただきたいと思いますが、前文・目的の部分からご意見等いかがでしょうか。
部会員	内容は概ねこれでいいかと思いますが、なるべく分かりやすい言葉で記載してもらえたらよいかなと思います。
部会員	全体的にもこれでよいと思います。前文が繋がりすぎて分かりにくい文章になっているので、もう少し短くした方が分かりやすくなると思います。 また、目的に「持続的な成長を実現」とありますが、常に成長するというのは難しいので、現実的な内容にあわせてもよいかなと思います。
部会長	前文と目的を分けることで分かりやすくなったと思います。少し長い気もするので、文面を整えた方がより良くなるかなとは感じます。
部会員	今までの議論の中で出たキーワードが、かなり盛り込まれた内容になっていて、前文のほうに厚みを持たせることで、目的の部分を際立たせるシンプルな形になり、分かりやすくなったと思います。目的で、こどもや市民が自分事として参画するところ、条例制定の意義の中で結構大きな意味を持つと思うので、更なる要素として入れてもいいのかなと感じている部分もあります。
部会員	非常にコンパクトでよくまとめられていると思います。前文の最後で、安定した経営基盤の強化を図り、こどもたちに活力ある未来を築くことを目指しますとい

	うところでは、唐突にこどもたちが出てくるのは少しどうなのかなと感じており巻いて、それよりも将来の社会を担うというような内容を入れる方が、文章の繋がりもよくなるのかなと個人的には思います。
オブザーバー	チャレンジ精神や創業に挑む事業者を支える風土を醸成について、チャレンジ精神を醸成するという、読み方でいいのでしょうか。 中小企業のチャレンジ精神と創業に挑む事業者を支える風土だから、創業に挑むチャレンジ精神自体を醸成することとそこを支える風土という二つの意味ををこの一文で読むのは難しいかなと感じます。
部会長	創業に挑む事業者とチャレンジという言葉は、意味合いが重複しますので、チャレンジ精神という言葉はなくしてもいいかもしれませんね。みなさんいかがですか。
オブザーバー	チャレンジ精神を持つ人と支える人の両方を醸成したいということだと思うんですね。活力あるまちづくりなども重複するような言葉が多いので、もう少し分かりやすくできるのかなと感じますね。
部会員	皆さまのご発言にもありますとおり、文章の体裁の調整は必要だと思いますが、ざっと見た中で私はあまり違和感を感じてはおりません。
部会員	私も先ほどから出ている皆さまのご意見以外は特にございません。前文のこどもたちの未来という部分が少し唐突なので、将来の社会を担うというような言葉をワンクッション挟んだ方が、分かりやすいかなと思いました。
部会員	住宅都市という川西市の特性を活かし、前向きな取組を支援することで市民の暮らしを支える。また、中小企業自身も市民として、中小企業の振興が地域経済の発展に繋がるような取組みを行う。前向きな将来を支えるということで、未来の担い手であるこどもたちを支援しますというメッセージかと思います。 私を感じたことなのですが、住宅都市としての発展をいかすということは、全体のもっと前にあると思うんですね。 資料３では、並列で書かれていますが、住宅都市の特性はすでに地域にあって、その上でチャレンジ精神を育み、既存事業者の支援も行う。市民一人一人の暮らしを豊かにして、将来のこどもたちの未来を育んでいきますということであれば、川西市のこれまでの話は、前段に持ってきたほうがもう少し整理がつくのかなと感じました。

事務局	前文及び目的について、様々なご意見いただきありがとうございます。こちらは、第一回及び第二回の部会員の皆さまの意見の中で、キーワードを特に重視して、とりまとめた事務局案を作成しております。本日の第三回部会の意見を反映した上で、市内部の総務課による法制チェックを実施しますので、法律的観点の目線から、変更が生じるかもしれないというところがございますので、ご理解いただきたく存じます。
部会長	それでは、続いて基本理念及び基本方針のご意見をお伺いします。構成としては、基本理念が想いという形のいわゆるミッションが書かれています。基本理念にリンクする形で基本方針はどういった行動を起こすかというアクションの部分として表を作成しております。4つの基本理念に対して、基本方針を6つ挙げているという状況でございます。分かりにくい部分や加えたほうが良い部分などございましたら、ご意見いただきたいなと思いますが、いかがでしょうか。
オブザーバー	基本理念の中で、1番では挑戦と創造という言葉になっていて、2番では連携と共創になっていますが、前文では協働という言葉を使っているんですね。 前文の協働という言葉は、適切かなと思ったのですが、共創という言葉になると、何かを創っていくイメージなのか、言葉の意図をお伺いしたいのですが、いかがでしょうか。
事務局	先程も申し上げましたとおり、現段階までに出てきたご意見やキーワードを集めた作文みたいな形になっております。前文や目的等で言葉が重複しているというところについては、今回の部会でご意見などを反映できればと考えております。
オブザーバー	この言葉のほうが良いんじゃないかななどの意見を部会員から発言してほしいという趣旨でいいですか。
部会員	現段階では、現状はこうなっていて、この後にこういう方向で目指しますというプロセスの部分だと思うんですね。 そう考えた場合に、今日のゴールはどこにするのかということが伺えますと考えやすいかなと思っております。
事務局	本日の目的としては、条例案を制定するためにブラッシュアップしていくというところなんです。ここの表現がわかりにくい、言葉尻がちょっとおかしい、キーワードが足りていないというようなご意見もいただければと思います。 また、自身の立場であれば、こういう内容も追加したいや自身の立場から相手に

	こういう内容にしてほしい部分を追加するなどのご意見もいただければと思っております。そのようなご意見も踏まえて、条例案として作成していきたいと思っております。最終的には法制チェックを行いますので、第4回部会は2ヶ月後という時間を置かせていただいております。法制チェック後は、できる限り早く情報共有させていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
部会員	詳細にご説明いただきありがとうございます。本日の目標をお伺いしたかったので、理解出来ました。
部会員	上手くまとまっているかなと思います。言葉尻の話になりますが、基本方針5番の地域経済と生活の質の向上への調和促進という部分で、市民の生活の質を損なわないよという表現は少し否定的ですので、言い回しを変えた方がいいかなと思います。
部会長	おっしゃる通り、少し違和感を感じますね。表現としてわかりにくい部分については、ブラッシュアップをかけたほうが良さそうです。
部会員	基本方針1番で、創業支援の記載があって、基本方針2番で既存企業の発展という記載があるのですが、基本理念1番の挑戦と創造というところでは、創業者のスタートアップの内容のみの記載にみえておまして、基本理念の中に既存事業者が抜け落ちている印象を少し感じました。
部会員	目的が決まってから基本理念や方針が決まっていくという認識があるのですが、目的はこれで確定しているということでしょうか。
事務局	本案は、第1回及び第2回の部会でいただいたご意見を基に作成しております。今回の第3回部会でも目的で特に方針が変わるようなご意見はないかと思いますので、この目的で進めていく方向で良いという見解でございます。
部会員	先程も持続的な成長という表現はどうかというご意見も出たので、もう少し変わるのかなと思っていたのですが、この目的をベースに考えればいいということでしょうかね。
事務局	内容を分かりやすくするために文章が変わることはあると思いますが、方向性を大きく変えることはないという理解でございます。

部会員	私は、前文にこどもという言葉が必要なかなと感じています。基本的には、中小企業の為の条例であると認識しております。基本理念でこどもという内容があってもいいのですが、こどものために条例を作るわけではないですし、市民のために活気のある未来を築くというような内容でよいかなと思います。また、創業するとチャレンジする事業者は同じような意味なので、創業にチャレンジすると言う表現でよいかなと思います。
事務局	目的にこどもを入れるかどうかというところは、方向性が大きく変わってしまう内容でございます。第2回部会で総合計画で掲げてるというところから、前文や目的にこどもというキーワードを見据えたと認識しております。 他の部会員の方も、こどもというキーワードをどうすべきかという議論はしていただきたいので、ぜひご意見頂戴したく思います。
部会員	こどもが大事なことは重々理解しておりますが、こどもからそのまま川西の市民のままでおられる方もいれば、他の地域から川西市民になれる方もおられると思います。こどもを育てることは大事だと思うのですが、この前文だと将来の支えるこどものために作っている条例というイメージを取ってしまったので、だから前文では必要ないかなと感じております。
事務局	こどもというキーワードが、唐突にでてきていることへのご意見に関連してくるのかなと思っております。将来を担うや市民という言葉などにに変わる方が良いかという部分については、他の部会員の方にもご議論いただきたいところでございます。
部会長	やはり唐突にこどもというキーワードが出てくることは、違和感を感じますね。未来や将来に向けてという内容ですから、将来におけるこどもも市民も含まれていて、クローズアップするのは未来や将来というような部分かなと感じているところです。
部会員	理念の中では、こどもとか未来を担う人たちが出てきても良いかなと思います。例えば、基本理念1番の多様な価値を生み出す地域特性を活かすとありますが、この内容も結構唐突ではありまして、文章が長くなるとぼやけてしまうような印象があります。基本理念としては、こういう風にありたい姿というか、少し夢を描いているような内容でいいと思うんですね。 川西市としてチャレンジ精神を醸成したい。創業などを志す人たちを支援するような風土を醸成するという分かりやすくシンプルに書く方が良いかなと思いました。

	理念2番は、地域に根差したような連携と共創を目指すという部分は、ローカル経済というものを重視することだと思うんですね。ローカルには、中小企業や大企業や市民や行政もあるということなので、相互の連携や対話を重視することがもう少しわかりやすく、シンプルにできるかなと感じました。 理念3番は、川西市は自然がある住宅都市であり、都市部にはない質的な豊かさがあると思いますので、暮らしの質を重視するために、地域経済の振興という中小企業の活躍などの経済活動が市民と調和する必要があるということだと理解しました。 理念4番目は、こどもたちという未来を担う人たちに向けたまちづくりを考えているということですよ。地域において、事業者の発展や新しい事業者が生まれることが重要であるということですよ。そのような辺りを整理していただけると、非常にいい内容になるかなと思いました。
事務局	様々なご意見をいただきましたので、反映できるように進めていければと思います。部会長も仰ったとおり、こどもというキーワードを頭に持ってきてるから目立つのかなと感じております。 前文にこどもというキーワードが入れるかもしれませんが、こどもたちに活力ある未来を築くというイメージですので、表現を工夫するような形で考え直すことができれば思っております。
部会員	皆さまが仰るとおりかなとは思いますが、大企業の役割からした時にこどもというキーワードはある方が良いかなと思います。なぜそこで事業を起こしてチャレンジするのかというと、将来的にそこへ住む人がいる可能性があるから継続しようという気持ちになるのではないかなと思います。文脈の工夫は必要ですが、こどもたちが自分たちの住んでる地域に魅力を感じて、地域愛が深まるためには、市民と企業の関係性が深いことが可能性を感じやすいんじゃないかなと思います。
部会員	こどもという言葉を入れることは賛成です。川西市の方針として未来や子育てに重点を置いていますので、特色の一つとして出すために入れて良いなと思います。ただ、こどもがいない方もおられるので、基本方針5番で市民生活の質も考えていて、方針6番でこどもたちの未来に繋がる支援を盛り込んでいく内容で良いかなと思います。 大枠でこの入れるか入れないかということあればこの市民の生活の質の向上というのを盛り込むの私としてはいいかなというふうには思っております。
事務局	今のご意見について、資料3のフロー図で矢印が足りないのかなと感じました。つまり、基本理念4番のこどもたちの未来を育むというところの要素も踏まえ

	て基本方針５番は必要だということで、そのような方向でフロー図などを修正していこうと考えておりますが、よろしいでしょうか。
部会長	続きまして、役割の内容に移らせていただきます。前文、目的、基本理念、基本方針と話をしてきましたが、役割については多方面から更なるご意見をいただきたいと思います。ご自身の主体的なお立場で、ぜひご意見をいただきたいのですが、いかがでしょうか。
部会員	最初の方に申し上げたとおり、基本的には大きな違和感はないなと思っております。先ほど議論の中で、こどもというキーワードの話がありましたが、こどもがまちの未来に直結していると感じていますので、条例の中にこどもというキーワードは出て欲しいなと思っております。
部会員	また、基本理念４番にこどもたちの幸せという言葉が出てくるのですが、この幸せはどのような意味合いとして捉えたらよいか議論しておきたいです。 幸せの形は様々あるので、目線合わせをしておかないと紐づく具体のアクションでずれが出たりするのではないかという趣旨でございます。
事務局	幸せの形については、様々ですので、明確なものはございません。最終的には市民の満足度にどう繋がるかというところが重要なという理解です。 子供が市内で定住すれば、将来的に川西市は活性化し、住んでよかったと思う子供をいっぱい増やすことで幸せに繋がるという少し抽象的な表現になってしましますが、現時点でのイメージです。 例えば、駅前の阪急スクエアがオープンしたことで、子育て世帯が集うようになり、周囲の商業施設も潤うような状況ができています。事業者が潤すことで、市民が満足できるような施策が展開出来るようになる。本条例は、そのような循環を生み出す意味合いもあると考えておりまして、その中でこどもを基本方針６番に位置付けしているという理解です。
部会員	ご回答ありがとうございます。我々が幸せという言葉を入れるのであれば、幸せはこういうことだよねっていうイメージを考えておくべきかなと思います。私の中では、幸せというのは子供に限る話ではなく、自分の人生について自身で選択して、納得して生きていく。最終的にはそのまま死ねる状態がしあわせだと考えています。こどもにあてはめるのであれば、多様な選択肢を取れるということですね。教育や暮らしの選択肢がひとつだけという人生を押し付けられるのではなく、多様な生き方があるということが見えることがいいのではないかと思います。 あとは、そこに気づくための人との繋がりがあるかということです。自分の家族

	と学校だけだと見えない選択肢が大量にあるので、様々な生き方が担保されているまちが、こどもにとっての幸せが提供できるまちになるんじゃないかなというふうに思います。
部会長	今のお話のとおり、こどもたちの幸せは、豊かな暮らしを提供することなのかなと私も思っております。では、豊かな暮らしは何なのかという話になっていくのですが、それは魅力あるまちでまちづくりをすることで生まれるものだと考えておりました、いわゆる大人と子供の世代交流であったり、歴史文化に対して交流を深めるということが、郷土愛を持つことに繋がる。また、その子供たちが次の世代に伝承していくということが、魅力あるまちづくりとなり、こどもたちの幸せに繋がるのかなと感じております。 先程から議論に出ているこどもというキーワードですが、役割にはないんですよね。では、どこに含まれるかといえば、やはり市民等っていうところに含まれていると思います。ですから、市民の役割の中で、こどもの幸せを醸成するというような言葉が入ってきても良いのかなと感じました。
部会員	役割の中で、商工会と事業者団体とあるのですが、事業者団体は具体的にどういったものが想定されているかを教えていただければと思います。
事務局	事業者団体は主に経済団体というところを重きを置いて、作成しております。 経済団体については、例えば商店連盟や商店会・商店街等が当てはまるところです。また、川西市のまちづくりに関与してくれているNPO団体の方などもいらっしゃると思いますので、総括した形でどんな文言が良いだろうかと考え、事業者団体という名称で役割を置かせていただいたところでございます。
部会員	この役割の図については、条例の中で掲載する予定なのでしょうか。
事務局	現在作成している図については、本部会の議論を分かりやすくするための資料でございますので、本日の意見を踏まえて変わっていく可能性もあると思っております。条例の中に図は出せませんので、説明用の資料やパンフレットみたいなものを作るときには、このような図を使用するかもしれませんが、現状では予定はございません。
部会員	例えば、プレスリリースの際などで漫画のようなものがあつた方が、分かりやすいかなとは感じます。市民の方がより読みやすい、親しみを持ってもらいやすいような形にするということもありますし、将来的に川西市がこういうふうになるということがあって、自分がここにいてこういう繋がりがあるんだっていうこと

	を連想できるものができるといいなとは思いました。せっかく作っていただいた役割のイメージは、生かしていただきたいというのが、私の想いとしてはあります。 役割の中で、中小企業や大企業という内容が記載しているんですけど、川西市内にはもう少し小規模事業者さんが多いと思いますので、この図の中で読み取れるようになるといいなとは思いました。それ以外の矢印については、連携の強化がいわゆるこれ地域経済いうところのお金の流れなどに繋がりますので、そちらに関しては、この通りかなと思います。
部会員	役割の図全体に関しては、非常にわかりやすいと思いますが、矢印の言葉などが分かりづらい部分もあるかなと感じました。
部会員	中小企業の役割では、一文が長いので、中小企業は市民の暮らしを支えるサービスや雇用を提供するとともに、自社の経営基盤を安定させて、商工会などの事業団体の帰属意識を高めることを1つとして、自身の事業だけでなく地域貢献とか社会に向けてっていう責任を全うするみたいなことを1つとするなど項目を分けてもらったほうが、入りやすいかなと思います。 商工会の役割の中に、市民のお困り事を解決する事業者の育成をというところがちょっと長いですし、少し違和感を感じます。他の役割でいうと、市や大企業も、必ずは難しいと思いますが、なるべく地域の事業者を必ず使うという意識をすとか、文言を入れることが可能かは分かりませんが、そういう想いが入ると地域の者、中小企業としてはうれしいかなと思います。 また、こどもを前文に入れるかどうかという話ですが、やっぱりあったほうがいいかなと私も思います。こどもという言葉が入ると市民が自分たちのことでもあるんだなと意識しやすくなり、未来を連携するワードとしてこどもが入ることで、市役所や企業や金融機関とかが勝手にやってることにならないかなと思います。ただ、市民の役割の中でこどもを中心にするという言葉が気になっておりまして、ここでこどもを強調する必要があるのかなと感じているところです。
部会員	例えば、大企業の方が何かをやるときに、中小企業と連携を取るとか川西市の事業者を使ってくださるとか、中小企業がやっているイベントに何らかの形で関わってくださると箔が付くという部分もあると思うので、大企業さんにも連携をとってほしいと思います。
部会員	同じような意見にはなりますが、中小企業と大企業がお互いにやってること理解できていない気がしていて、繋がりが薄い部分があるかなと思います。 大企業によっては、商工会と一緒にイベントなどやりましようと思声掛けてく

	れているので、他の大企業とも繋がりを密接にできるような連絡というか会議の場があっても面白いかなと思います。
部会長	大企業と市の繋がりとしては、包括連携という連携の形もありますから、みなさんが仰るとおり、中小企業と大企業との繋がりが増えると良いかなと思います。 いま北部では、大規模な物流センターもできようとしておりますので、何か接点を持ったり、連携できるような機会を作っていく必要があるのかなと感じますので、大企業の役割の中には、そのような連携などのキーワードが入ってきたら良いですね。
部会員	文章全体とおしてなのですが、事業者団体（商工会をのぞく）は、明確にするためにあえて分けて記載したと思いますが、金融機関の役割に出てくる事業者団体は、どこまで含まれているのかが分からなくなるのではと読んでいて感じました。他の文面で、商工会を除くなどを入れますと、文章が長くなりますし、事業者団体という言葉がよく出てくるので、もう少し分かりやすく整理した方が良いかなと思います。
事務局	先程、説明させていただいたとおり、これから法制チェックをしていきますので、定義をどのように決めていくかという課題があります。通常の条例であれば、法律にあわせるように定義をしていくところですが、本条例は定義で中小企業法に定めるなど決めてしまうと、限定しすぎてしまうのではないかと懸念しております。
部会員	全体的にきれいにまとまっていると思います。その上で、中小企業の基盤を安定するためのサポートという役割を金融機関や商工会辺りに盛り込んだらいいかなと思います。 大企業の役割のところで、地元企業との連携というキーワードは入れていただきたいかなと思います。大企業には信用力や発信力もありますので、市のブランドにも繋がることも含めて、中小企業と連携していただくことは必要であると思います。 商工会の役割の要素に入れるかどうかの話ではありますが、様々な事業者がおられますので、助成金とか経営相談などの情報を提供する機能を盛り込むことができれば、より厚みを増すと思います。 最後に、こどもというキーワードは必要だと私も思います。ただ、こども限定と思われぬように、表現については上手く変える方が良いと感じました。
オブ	市民の役割は、地域の商店やサービスの積極的な利用になっていますが、事業者

ザーバ ー	側の中小企業や大企業の役割では、その側面にあまり触れていないように思います。また、市民の役割の中で、にぎわいの主体という表現が出ていくのですが、市民はにぎわいの主体というよりは、経済活動の主体という認識を持っていて、地域をつくる主体というイメージではなので、もう少し表現を変える方がいいかなと思います。 中小企業の役割では、市民の暮らしを支えるサービスや雇用を提供すると記載されておりますので、並列で書かれていると少しぼやけるので、明確な表現の方が良いかなと感じました。 商工会の役割では、市民のお困り事を解決するという言葉は違和感を感じますので、もう少し見直しする方が良いのかなというふうに思いました。
部会員	私も市民の役割のところで、難しいとは思いますが、もう少し明確な表現にできないかなと感じています。 地域産業を振興することで、生活の質が向上するということもありますし、極端な話をする、自分の住んでいる町で経済活動へ参加しないと町が消滅する可能性がありますよということですね。そこまで記載するのは難しいですが、意識をしてもらうことは必要だと思います。
部会員	様々な事業者との繋がりというのは、大企業の役割に入る方が良いと思います。 こどもたちの未来という部分で、包括されていると解釈しておりましたが、先程からのご意見もあるように、繋がりを意識することは、市内にある企業全体で考えていくべきですので、キーワードとして盛り込んでいただいた方が良いと思いました。
部会長	事業者団体と商工会というところは、事業者団体（商工会）と事業者団体（その他）という表現でも良いかなと感じましたので、定義の中で検討していきたいと思います。 みなさまからたくさんのご意見をいただきありがとうございました。 本日いただいたご意見につきましては、今回の骨子案に追加していこうと思います。また、第4回の部会までに、事務局で資料を作成していただく予定になっております。後日にご意見などがございましたら、メールで事務局へご提出いただければ、第4回部会の骨子案に追加するようにいたします。
部会長	3、その他 では、次第3「その他」についてですが、条例の名称について事務局から報告がありますのでお願いいたします。

事務局	＜ 議題（３）について説明 ＞
部会長	ご説明いただきありがとうございました。条例の名称の決定につきましては、第４回の部会へ市長にも出席いただき、話合いで決めたいと思いますが、いかがでしょうか。 ＜ 異議なし ＞ それでは、進行を事務局にお返しします。
事務局	４、閉会 部会長につきましては、会議の進行ありがとうございました。 また部会員の皆様におかれましては、たくさんのご議論いただきましてありがとうございました。 最後に第４回の部会につきましては、９月２６日金曜日の１０時から開催とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 また、本日の部会の内容につきましては、８月の産業ビジョンに諮る予定です。おそらく方針が大きく変わるような内容はないかと思いますが、産業ビジョンでも意見聴取をする予定ですので、ご報告いたします。 では、第３回川西市振興条例制定部会のほうを閉会いたします。 本日は長時間にわたりご議論いただきまして、誠にありがとうございました。